



左から2人目：青木潤一代表

(取材者) 美作大学生活科学部
社会福祉学科3年(左から)
敷木 麗菜さん、豊田 奈々美さん
花谷 綾音さん

今年度は県内で福祉を学ぶ現役大学生が取材・レポートします!

県内地域福祉活動の取組レポート

ソーシャル

アニマル

ボンド

Social Animal Bond



「学校に犬がいればいいのに…」一人の不登校児童の言葉をきっかけに始まった動物介在教育。代表で元教員の青木さんは、この取組を全国に広めるため、西粟倉村に移住し、2021年度にSocial Animal Bondを立ち上げました。

学校教育現場では、環境に馴染めない、居場所がない、いじめを打ち明けられないなどにより、子どもたちの不登校や、自己肯定感の低下が顕在化しています。教員も、子どもたちとしっかり向き合う時間を確保することが難しいのが現状です。そうした中、子どもたちを教室で待つのは「スクールドッグ」。学びの場に犬が介在し、子どもたちの心に寄り添います。今回は、子どもたちが安心して居場所づくりに向けて取り組んでいる、「Social Animal Bond」代表の青木潤一さんに、スクールドッグの魅力や、活動に対する思いを伺いました。

スクールドッグって??

犬種は決まっていますか?

定義はしていません。今は人との相性が良いとされているラブラドルレトリバーやゴールデンレトリバーで活動しています。

ウサギや鳥などで活動するのとは何が違いますか?

犬と人間は、互いにオキシトシンという幸せホルモンが分泌されることが証明されています。ウサギや鳥などにはない特徴です。

子犬の時から訓練してスクールドッグになるんですか?

盲導犬のキャリアチェンジ犬(訓練を受けたが不採用だった犬)を採

用しているため、スクールドッグ専用の訓練はありません。盲導犬にはなれなかったけど、しつけはしっかりできているし、人に寄り添える穏やかな素質を持った犬です。

*AAE(動物介在教育)で大切にしていることや意識していることはありますか?

『これが正解』と決めずに、子どもたちが主役でいられるよう、サポート役、見守り役に徹しています。



スクールドッグのスーちゃん

ここが気になる!

子どもでもしつけはできますか?

もちろんできます。犬と関わる上でのルールを伝える時間を設けて、犬の気持ちを考えて接するよう促します。子どもが優しく接すれば犬は応えてくれるので、お座りやジャンプなど、色んなことを覚えてくれます。

学校の先生の負担が増えてしまいませんか?

準備も片付けも見守りも、全部

教えて青木さん!

活動を始めたきっかけは?

以前教師をしていたとき、クラスに不登校の子がいました。積極的に関わるうちに、その子は一度学校に復帰できたものの、卒業後の進学先でまた不登校になりました。

子どもたちの心に寄り添うには、人の力だけではダメだと思った瞬間でした。そこで、AAE(動物介在教育)に目をつけました。海外では進んでいる教育なので、日本版を作ることになりました。

なぜ西粟倉村に移住を?

全国から移住者が集まり、起業しやすい雰囲気があったことがきっかけです。実は西粟倉村は、人口の2割弱(200人ほど)が移住者なんです。

生徒の居場所とは、具体的にどのような場所ですか?

答えはないです。子どもの中には犬ではなく人と話したいという理由でスクールドッグを利用する子もいます。子どもにとっての居場所は様々です。

だからこそ、スクールドッグという名前も意図的に言っています。以前はセラピードッグという名前で活動していたんですが、ある子から「悩みがある子しか来ちゃダメなの?」と言われたことをきっかけにスクールドッグと言うようになりました。

スクールドッグにすることで、子どもたちが「犬に会いに行ってくる」という理由で気軽に参加できるようにしたかったんです。

犬の魅力とは？

人を見かけで判断しないところですね。犬は関わられ方によって態度を変えることはありますが、第一印象で態度を変えることはありません。どんな子でも関わりを持てるのが犬の魅力です。

やりがいを感じる瞬間は？

子どもが犬と二人きりで過ごせるようになったときですね。最初は犬を怖がっていた子が、サポートを受けながら少しずつ触れ合いを重ねることで、僕がその場を離れても平気になるんです。子どもの成長が感じられ、とてもやりがいがあります。

今後の課題は？

現在は私立学校での活動がほとんどです。公立学校においても「まずは取り組んでみよう！」となれば嬉しいですね。

今後の展望は？

AAEはあくまで「動物」介在教育であり、犬にこだわる必要はありません。今後は犬だけでなく、様々な生き物によるAAEがあってもおかしくないと考えています。

牛の声

自分が来ると、スーちゃん(犬)

が穏やかになるのが嬉しい。来て良かったなあって思う。スーちゃんを落ち着かせるのが自分の最高の役割！

取材を終えて

今回の取材を通してスクールドッグのあり方について学べてとても勉強になりました。公立の学校での「みんな平等」という固定概念などから教育と福祉の壁を実感しました。(敷木)

スクールドッグという活動を今回の取材で初めて知りましたが、参加している子どもたちがみんな笑顔で、居場所づくりの大切さを感じることができました。まだまだ知られていない活動かもしれないが、スクールドッグが身近な存在として世の中に浸透していけばいいなと思っています。(豊田)

動物を撫でているときの胸がじんわりと温かくなる感覚が大好きです。今後、スクールドッグが教育現場にいたることが当たり前になり、多くの子どもたちの心が温かく包まれていてほしいと思います。(花合)

お問い合わせ先

Social Animal Bond

〒707-0500

英田郡西栗倉村大茅873

<https://www.social-animal-bond.jp>

☎ : 0808-751-3453

✉ : info@social-animal-bond.jp

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和6年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術	入院中の手術	65,000円	
	保険金	外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任	特定感染症		補償開始日から補償 ^(*)	
	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

*特定感染症についても10日間の免責期間がなく、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)